

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 **最終** )

倉橋中学校区 校番30 倉橋小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活目標の中で「自分から挨拶」を重点項目にしているのは、人と人とのつながりを築く上で大切なことだと思うので適切だと考える。</li> <li>・「主体的な学びの実現」という中期目標に向けた短期目標, 指標を適切に設定している。</li> <li>・子供の生活において重点的な面から目標・指標を定めていると思う。</li> <li>・難しいとは思うが、もう少し定量的な目標があればよい。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一見すると目標に見えるものもあるため、何をどうするといった、具体的な内容があればより分かりやすいと思う。</li> <li>・方策は、日々の授業や活動の中で取り組む内容になっている。</li> <li>・具体的な方策を策定している。</li> <li>・異学年や地域との交流は、人と人とのつながりをつくり、より良い人間関係を築くのに適切であると考えます。</li> </ul>
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成度の内容が適切に分析され、課題が抽出できている。</li> <li>・「学校が楽しい」と感じる児童が多いことで不登校の未然防止に取り組んでいることが分かる。安心して学校生活を送ることができることが分かる。</li> <li>・下半期に改善する項目があり、適切な分析ができている。</li> <li>・とても丁寧に分析をしている。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善策とされているものの多くは、すでに取り組んでいることではないかと思う。これまでと方法を変えるものだけをシンプルにまとめた方がより明確になるのではないか。</li> <li>・課題に向けての努力がうかがえる。</li> <li>・ICT活用による教職員の業務改善等、更なる改善に向けて取組を進めてほしい。</li> <li>・表彰する等、児童に意欲をもたせる取組が良い。今後も工夫してほしい。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年がタブレットを普通に使いこなしているのに驚いた。</li> <li>・中学校教諭による専門的な指導など、小中一貫教育が有効に機能していると思う。</li> <li>・授業の準備等など教員が持ち帰る業務がある点が気がかりである。</li> <li>・学校関係者評価委員会の資料作成のために多くの時間を要しているのではないか。業務改善を考えると、もう少し簡単な資料でもよいと思う。</li> <li>・自己肯定感につながる「ハートメッセージ」「ありがとうボックス」等の取組を保育所でも参考にしたい。</li> <li>・教職員の業務の負担を減らしてほしいと感じた。減らした分、子供と接する時間を増やすのは素晴らしいが、教職員自身の生活にも余裕をもってほしい。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「授業サイクル」に沿った授業づくり、「聴き方レベル」の指導と評価等日々の授業を大切にすることを継続していく。また、学力補充の時間確保やQubenaの活用等個に応じた指導を工夫し、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図る。</li> <li>・地域や異学年との交流や相互評価と振り返りのさらなる充実を通して、安全・安心な風土づくりを行い、自己有用感を高める。</li> <li>・来年度は、学校運営協議会において、具体的な方策・指標を示すこと、改善策の重点化等を行い、参加者に学校評価をより分かりやすく納得してもらえるものにしていく。</li> <li>・ICT活用による会議のペーパーレス化、授業準備や評価の効率化等、さらなる業務改善を進めていく。</li> </ul>
--------------------	---